

鶴岡市ボランティアセンターだより

小中高校生たち 夏のボラ体験♡

今年の夏休みも、たくさんの小中高生の皆さんがボランティア活動に参加していました。鶴岡市内で行われた多くの体験や活動の中から一部を紹介いたします。

県内各地で実施された「夏の体験ボランティア」。鶴岡市では12の児童館や介護施設等がボランティア体験先として多くの中高生を受入れてくれました。

知ってますか？ YY ボランティア

山形県内では、地元の青少年が学校の枠を超えて集まるボランティアサークルが多数活動し、このような地域主体のボランティアの在り方は全国でも珍しく、「山形方式」と呼ばれ高い評価を受けています。県内の青少年ボランティアを、山形の「Y」ヤングの「Y」に賑やかな様子をかけて「YY ボランティア」と呼んで、様々な活動が取り組まれています。

中でも、山形県青年の家や山形県地域貢献活動情報センターでは、毎年「夏の体験ボランティア」を実施して中高校生が活動する機会をつくっています。

第一学区サマーボランティア体験 青色駐車場ペンキ塗り



小林さんの指導の下
小中学生がペンキ塗りに挑戦！

8月4日(月)に第一学区コミュニティセンターの青色駐車場で、小林光雄さん(脊髄損傷の会会員)と共にペンキの塗り替えを行いました。他にも学区内の児童施設等で活動しました。

(参加小中生 63 人、活動5か所)

参加者からの感想

- 小さい子たちと関わることができて楽しかった。
- 知識が増えてとても勉強になった。
- また来年も参加したい。

- 準備がいろいろあって裏側の大変さを知った。
- 施設職員の子どもたちへの声のかけ方が勉強になった。

特定非営利活動法人明日のたね 夏休みこども大学(楽)

明日のたねでは、7月28日(月)から8月1日(金)まで5日間で、郷土料理作りや体験活動など日替わりの体験アクティビティを開催しました。中高生ボランティアのみなさんは、参加した子どもたちと一緒に、「寺子屋」や「あそぶ！まねぶ！時間」を行い、子どもたちのリーダーとして活動しました。(参加中高生 22 人)



YY ボランティアサマーチャレンジ in 庄内



スライム作りの説明中！
ブースも自分たちで作りました♪



▲「こうするともっと飛ぶよ！」

8月7日(木)に、鶴岡市中央公民館で庄内教育事務所社会教育課主催「YY ボランティアサマーチャレンジin庄内」が行われました。25名の募集に対し、50名の中高生ボランティアが集まりました。午前はボランティア講座を当センターが担当し、スキルアップ講座(スライム作り・バルーンアート・紙トンボ作り)では、鶴岡市内のボランティアサークル等が講師として協力しました。午後の「YY フェスティバル」では、参加した小学生約100名に対して、中高校生が午前中に学んだことを活かして先生役を担い、交流しながらボランティア活動の楽しさを体験しました。

他分野との繋がいを広げて…新たな地域力を♡

分野を超えた連携が、新たな「地域力」に！

鶴岡市ボランティアセンターでは、福祉分野以外の企業や NPO 法人等との関係も積極的につくり、時代の変化により浮き出てくる福祉課題等を解決する担い手として様々な活動が実施されています。商店街、コンビニ、建設会社、サービス業、



ソーセミコンダクタ M (除雪)



三和メイトック (除雪)

大企業の工場をはじめ、多くの企業や団体がそれぞれの特徴を活かした活動に取り組んでいます。例えば、こども食堂を運営する団体とコンビニが繋がり、そのコンビニが仕事を探している方の就労体験や雇用支援にも繋がりました。山間部の豪



バチンコのダイナミク
(児童養護施設訪問)

雪地で建設会社の社員が地域のコミセン等と繋がり、除排雪が出来ずに困っている高齢者の支援を行ってくれる等、分野を超えた繋がりが「新たな地域力」を創る役割を果たしてくれています。



▲映画と福祉と商店街のコラボ
(障がい理解する事業)



▲こども食堂団体とファミリーマート
(通年の連携活動打合せ)

「教育」分野等の団体とも！

ボランティアセンターと、以前は連携することが少なかった「教育」分野の団体と繋がることも増えてきました。発達障がいの子供たちの社会参加を促進する団体、不登校児の家族の相談や交流機会をつくる団体、勉強はわかるが読み書き出来ずに苦しんでいる(ディスレクシア)子供や家族を支援する団体。さらには LGBTQ や性同一性障がいの人の理解促進や支援を行う団体等とも繋がり、当センターが出来る範囲での側面的な支援を行っています。

「ディスレクシア」の理解と支援活動

学習方法研究所 Lab@PAPPA (ラボ・パッパ)



ディスレクシアの理解と支援

6月21日(土)、にこ♡ふるで開催された「ディスレクシア(読み書き困難)を理解する講演会」。教師等70名が参加。講演に続き、鶴岡市内でその症状のある中学生が自分の状況等を話してくれました。本人は、以前なぜ読み書きができないかが分からず、周りの理解を得られずに辛い思いを抱えていた。今は「ディスレクシア」という症状だとわかり、外国の若者たちとも交流する等前向きに生きていました。人口の約10%の人がディスレクシアの症状があると言われ、鶴岡市内の学校でもその症状で勉強はわかるのに試験で回答できない児童・生徒も増えているとのこと。学校では、その児童生徒に合った回答方法を検討中だとのことでした。

講演会の主催団体の一つ「学習方法研究所 Lab@PAPPA」の代表加藤真由美さんの想い等を、市社協「おだがいさま第119号」で紹介しています。市社協 HP をご覧下さい <https://x.gd/kecne>



鶴岡市と災害協定を締結

災害ボランティアセンター設置・運営

6月24日(火)、鶴岡市役所で市と市社協の災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定締結式が行われました。鶴岡市で



災害が発生した時に、災害ボランティアセンターの設置判断やお互いの役割分担、費用の負担など、これまで相談しながら

行ってきたものを明確にし、より迅速に対応できるようにすることを目的としたものです。

詳細は市社協 HP をご覧下さい。

<https://x.gd/gloYU>



第42期 傾聴ボランティア養成講座 受講者募集中

入院、施設入所、在宅等で、話を聴いてほしい方への傾聴活動を行うボランティア養成講座です。受講希望の方は、下記山形傾聴塾の担当者にお申込み下さい。

○日程 R7年10月7日、14日、21日、11月4日、11日、18日(6回)

○方法 zoom によるオンライン講座

○受講料 7,000円 ○定員5名 ○締切 9月21日まで

申込み・問合せ 西岡まゆみさん(携帯) 080-5015-9734

梅津幸士さん(携帯) 090-9533-0532

※詳しい内容は 市社協 HP をご覧下さい <https://x.gd/aQQ8W>



はじめまして！



7月から、ボランティアセンターに勤務しております川崎亜樹子(あきこ)と申します。ボランティア活動を通して、多くの方々と出会い、地域のつながりづくりに貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いします。

＜らくがき＞ 猛暑、酷暑、降り始めれば豪雨～水害。そして世界各地での戦争。私たちの瑠璃色の地球が悲鳴を上げ始めている…ボラ体験した子供たちの学びが、この世界を救ってくれると、心から願っている(H)